

夏休みにおすすめの本

2023年 3・4年生

『ふしぎ草子 あやしくもふしぎな八つの物語』

K913 トミ
富安陽子 作 山村浩二 絵 小学館

使われていない音楽室からポロンと、ピアノの音が聞こえてきます。子どもが遊んでいるとおもって部屋の戸を開けると、そこにいたのは・・・？

朝、サッカーの練習のため公園に行きましたが、一面深いきりにつつまれていて何も見えません。けたボールがきりの中に消えてしまい、こわくなって家へ帰ろうとすると、あやしいものが現れました。ふしぎでこわい物語が8話入っています。



『キュリオとかめの大王』 K913 サイ

斉藤洋 作 ももろ 絵 講談社

白いくまベベのところに少年キュリオが遊びにきました。すると、キュリオは「きみょうならくだを見にいこう。」と言って、ベベと一緒にさばくへ向かいました。そこにいたのは3つのこぶがあるらくだムッシュー・トランペットでした。トランペットにひきつれられ、一行はかめの大王に会いに行くことになりましたが、どこにも見当たりません。みんなはかめの大王に会えたのでしょうか。

『にわか魔女のタマユラさん』

K913 イト
伊藤充子 作 ながしまひろみ 絵
偕成社

「たまゆら」はひょうばんの喫茶店です。ある日、お客さんのヨルさんは、黒いバッグを店主のタマユラさんにあずけて消えてしまいました。バッグの中からは、魔女の道具（黒ネコ・大きななべ・ほうき・はちうえの植物）が出てきました。タマユラさんが魔女の道具にそれぞれ名前をつけると、なんとおしゃべりができるようになりました。楽しいおはなしが7話入っています。

『トラタのりんご』 E ナカ

nakaban 作 岩波書店

りんごが大好きなトラタは、りんご畑を持っているおじさんから苗と図鑑をもらい、ベランダで育て始めます。ある日、ちいさな赤い実をくわえた鳥がやってきました。鳥の行く先が気になって追いかけていくと、街はずれに古い門があり、そこにはバラの花のような香りのする酸っぱいりんごや、いろいろな種類のめずらしいりんごがありました…。季節がめぐって、トラタのりんごの木にも花が咲きます。トラタのりんごは、どんな味がするのでしょうか。

『リスのヒュータス』 E トラ

ドラモンド 作 やまだしげこ 訳
福音館書店

ヒュータスはみかんいろの毛糸のリスです。ジュリアンという男の子のいえでくらしています。ところが、あたらしくいえにきたうさぎのにんぎょうのラルフはヒュータスがきにいきりません。いっしょにこうえんにでかけたときにヒュータスはラルフにそとにほうりだされてしまいました。そこへまほうのぼうをもったりすがきて、ヒュータスをほんもののりすにかえました。

『みしのたくかにと』 K913 マ

松岡享子 作 大社玲子 絵 こぐま社

ある日、ふとっちょのおばさんがにわにひとつぶのたねをまきました。そして、「あさがおかもしれない すいかかもしれない とにかくたのしみ」と書いた板をたてておきました。すると、そこへ通りかかった王子さまがそれをさかさまに読んでしまい、ある時「みしのたくかにとが食べたい！」と言い出しました。

『やさしい大おとこ』 K933 ス

ルイス・スロボドキン 作・絵 こみやゆう 訳 徳間書店

むかし、高い山のお城にたいへん心のやさしい大おとこが住んでいました。大おとこはともだちがほしいと思い、人間の住む村へたびたびやってきます。ところが、大おとこの大きな声を聞くと、みんなこわがってしまいました。そのうえ、悪いまほう使いが、大おとこは悪い人だと村の人たちをだましていました。大おとこにともだちができるのでしょうか。

『バクのバンバン、町にきた』 K933 フ

ポリー フェイバー 作
クララ ヴリアミー 絵
松波佐知子 訳 徳間書店

なんでもできる女の子、マンゴー・ナンデモデキルは、とてもにぎやかな町でパパとくらしています。ある日、道路でうずくまっているバクのバンバンと出会い、いっしょにくらすことになりました。すぐに仲良くなったマンゴーとバンバンですが、プールに行けば係の人におこられたり、アパートではめずらしいものを集めているアツメールさんに追われたりと、ハプニングのれんぞくです。

マンゴーとバンバンの楽しいお話が、たくさんのイラストといっしょに4話入っています。続きに「バクのバンバン、船にのる」があります。

『おさらをあらわなかったおじさん』

ギン E ク
フィリス・クラジラフスキー 作
バーバラ・クーニー 絵
光吉夏弥 訳 岩波書店

まちはすれにひとりであらわしているおじさんは、自分で作った料理を食べおわるととてもくたびれてしまい、次の日におさらをあらうことにしました。

でも、次の日はもっとくたびれてしまい…、いつのまにか家の中はあらっていないおさらでいっぱいになってしまいました。



『ありのフェルダ』 K989 セ

オンドジェイ・セコラ 作・絵 関沢明子 訳 福音館書店

フェルダはいたずらが大好きで、とっても器用なありです。ある日フェルダが、「なんでも屋」をはじめると、いろいろな虫たちから次々と依頼がもちこまれます。

フェルダのお話はこの他に「とらわれのフェルダ」、「ありづかのフェルダ」と2冊の本があり、こちらも楽しいお話です。

木更津市立図書館

TEL 0438-22-3190